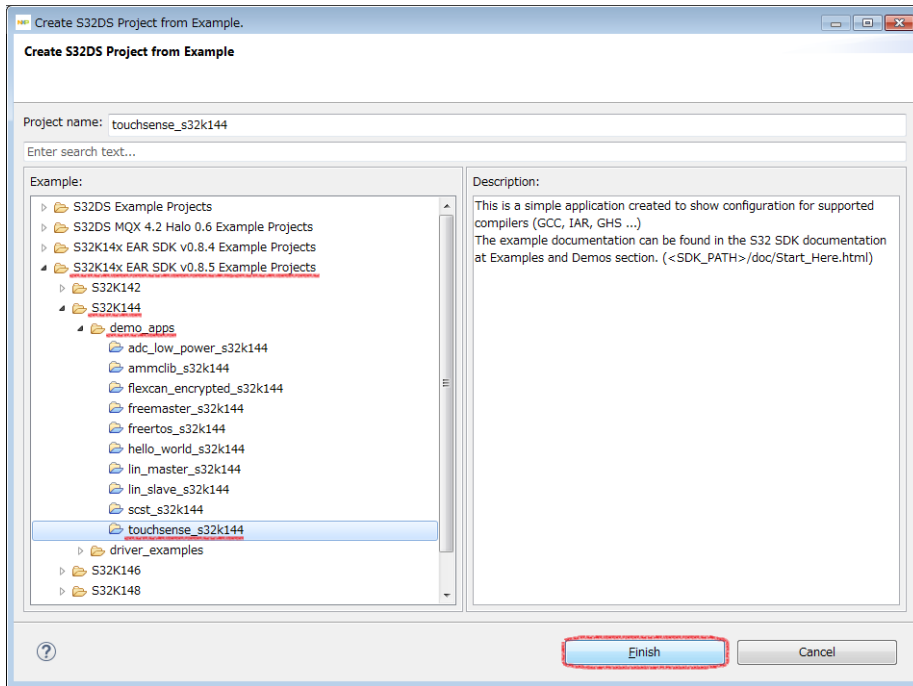


S32Kのタッチセンサ・ソリューションの手順

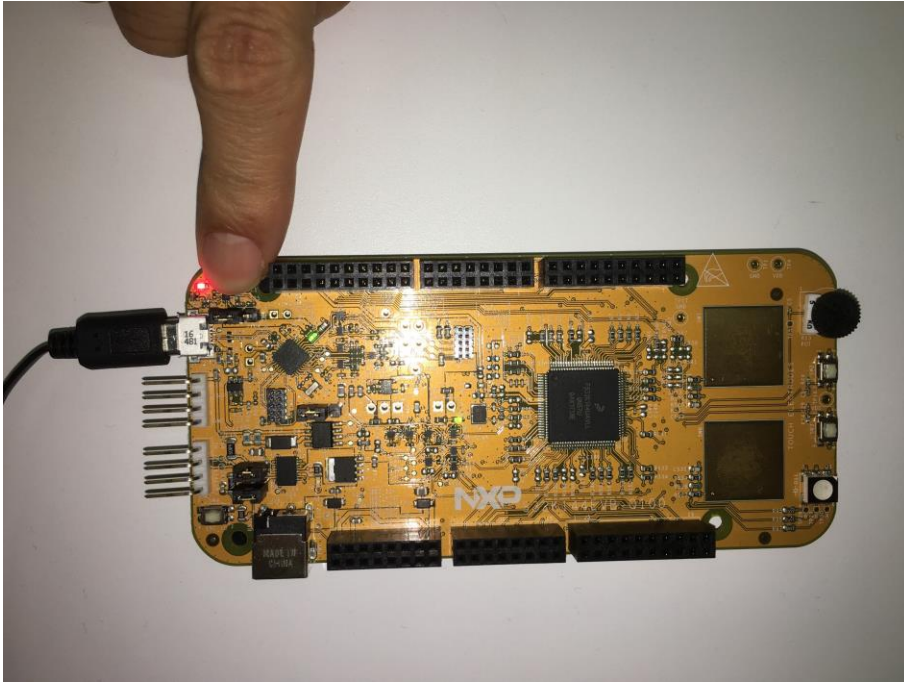
1. NXPジャパンニュースレター Vol.3にある「[S32KマイコンにおけるCAN FD設定手順](#)」に沿って、「touchsense_s32k144」プロジェクトをSDK v0.8.5 Exampleから読み込み、コード生成、ビルド、フラッシュ書き込みまで実行する。



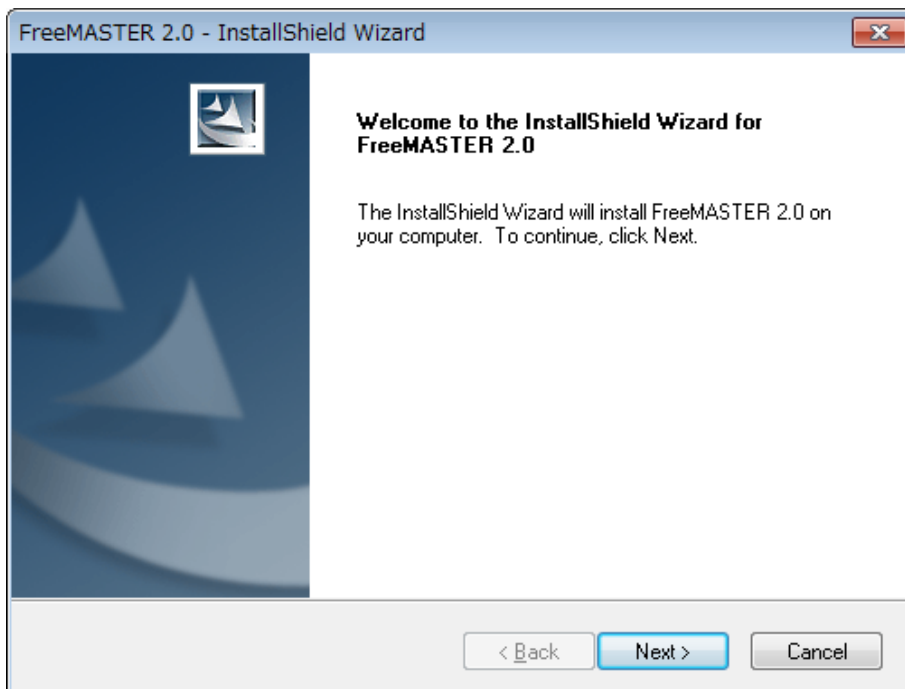
2. 正しくプログラムできたかを確認するため、デバッガの「実行」ボタンを押した後、S32K144EVBのタッチ電極を指で触れて、LEDが点灯することを確認。



3. デバッグを終了し、S32K144EVBのリセットボタンを押す。



4. PCに「FreeMASTER」アプリケーション
(<http://www.nxp.com/support/developer-resources/software-development-tools/freemaster-run-time-debugging-tool:FREEMASTER>)
をインストールする。

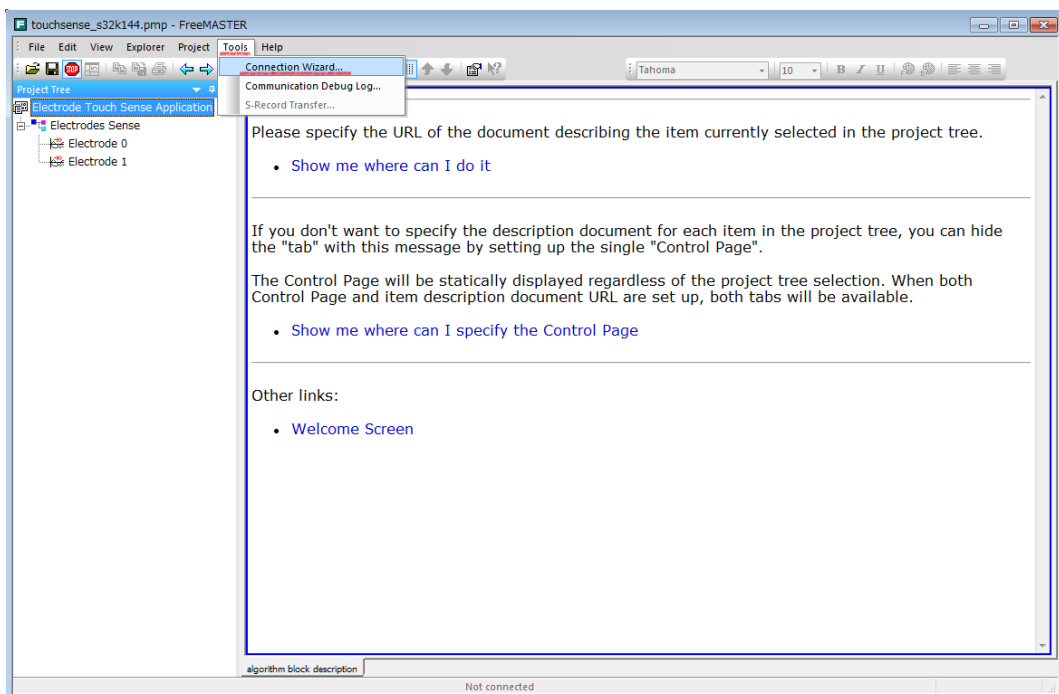




5. S32DS起動時に指定したワークスペースフォルダにある「touchsense_s32k144」フォルダ内の「touchsense_s32k144.pmp」ファイルを開く。

名前	更新日時	サイズ
.settings	2018/01/10 18:08	
Debug_Configurations	2018/01/10 18:07	
Debug_FLASH	2018/01/10 18:09	
Documentation	2018/01/10 18:08	
doxygen	2018/01/10 18:07	
FreeMASTER	2018/01/10 18:07	
Generated_Code	2018/01/10 18:08	
Project_Settings	2018/01/10 18:07	
SDK	2018/01/10 18:08	
Sources	2018/01/10 18:07	
.cproject	2018/01/10 18:09	65 KB
.gitignore	2017/12/04 12:30	1 KB
.project	2018/01/10 18:08	15 KB
.touchsense_s32k144.g_c	2018/01/10 18:09	41 KB
.touchsense_s32k144.g_x	2018/01/10 18:09	12 KB
description.txt	2017/12/04 12:30	1 KB
ProcessorExpert.pe	2018/01/10 18:09	936 KB
touchsense_s32k144.pmp	2017/12/04 12:30	8 KB

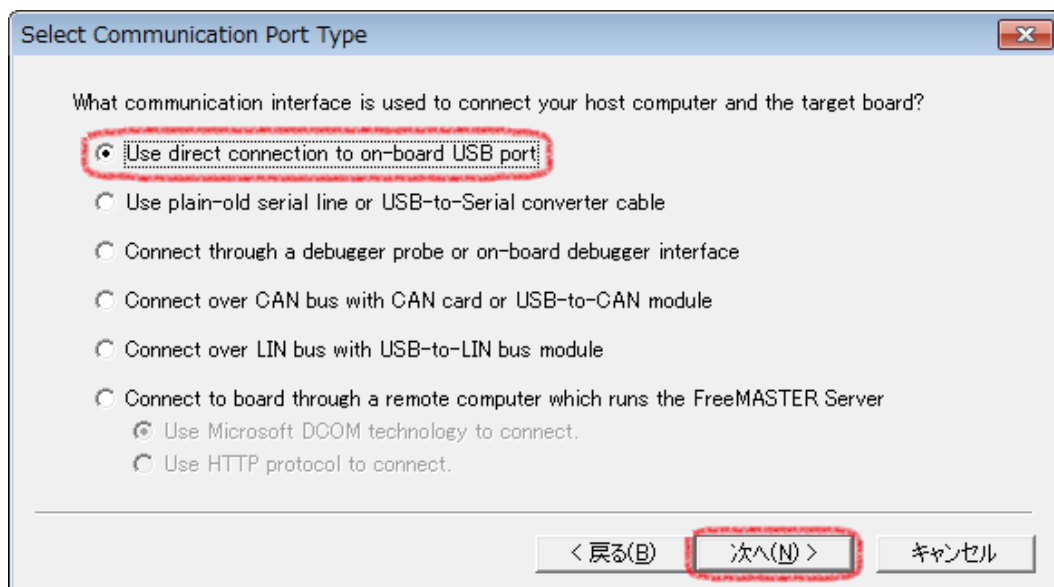
6. PCとS32K144EVBを接続するため、「Tools」メニューの「Connection Wizard...」をクリック。



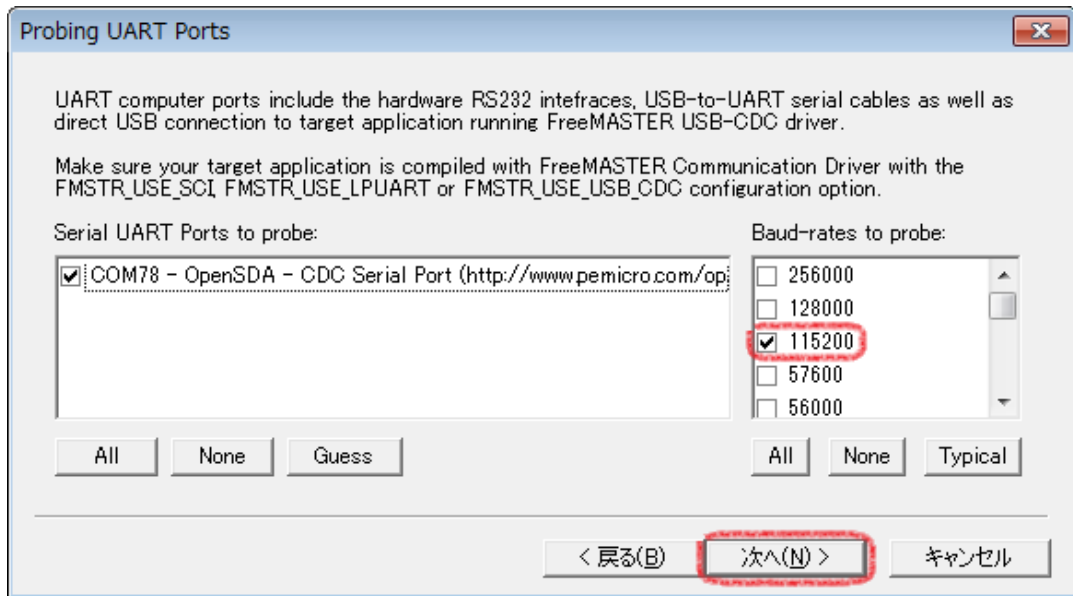
7. 「次へ」をクリック。



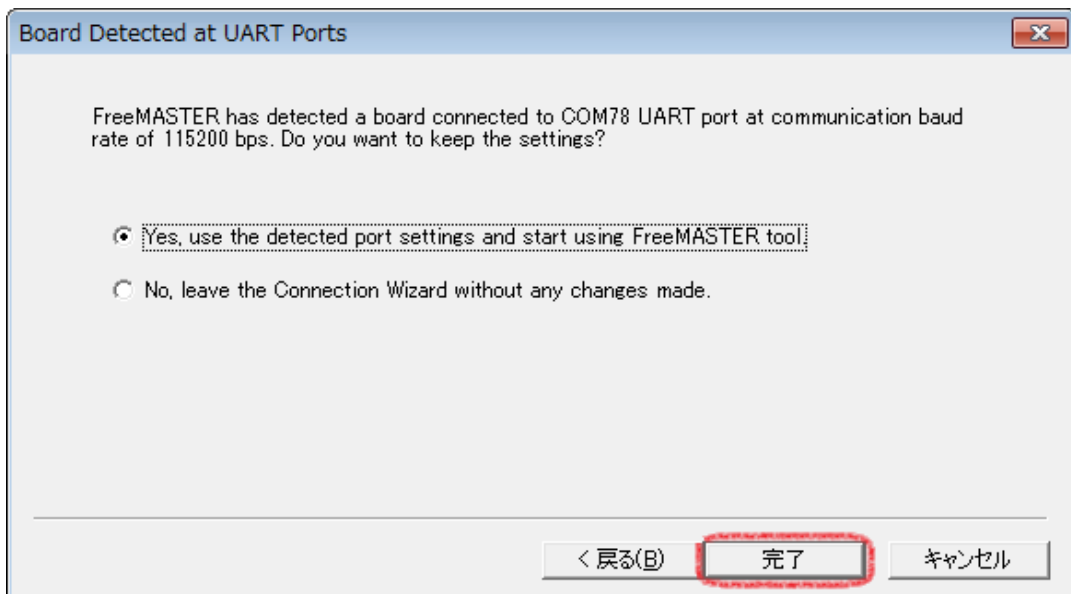
8. 「Use direct connection to on-board USB port」を選択し、「次へ」をクリック。



9. PCが認識している仮想COMポートが表示されていることを確認し、「115200」を選択して「次へ」をクリック。これにより自動的にボーレートを変えながら、通信の確立を試みる。



10. S32K144EVBとの通信が115200bpsで確立されたので、「完了」をクリック。



11. ウィンドウの左側にある「Electrode 0」または「Electrode 1」を選択すると、タッチ電極の状態(赤: AD変換直後、青: 高周波ノイズ除去後、茶: 最終的な論理値)が時系列グラフで表示される。これにより、実際の環境や反応速度の設定に応じて最適なフィルタ定数の調整が簡単に実施できる。

